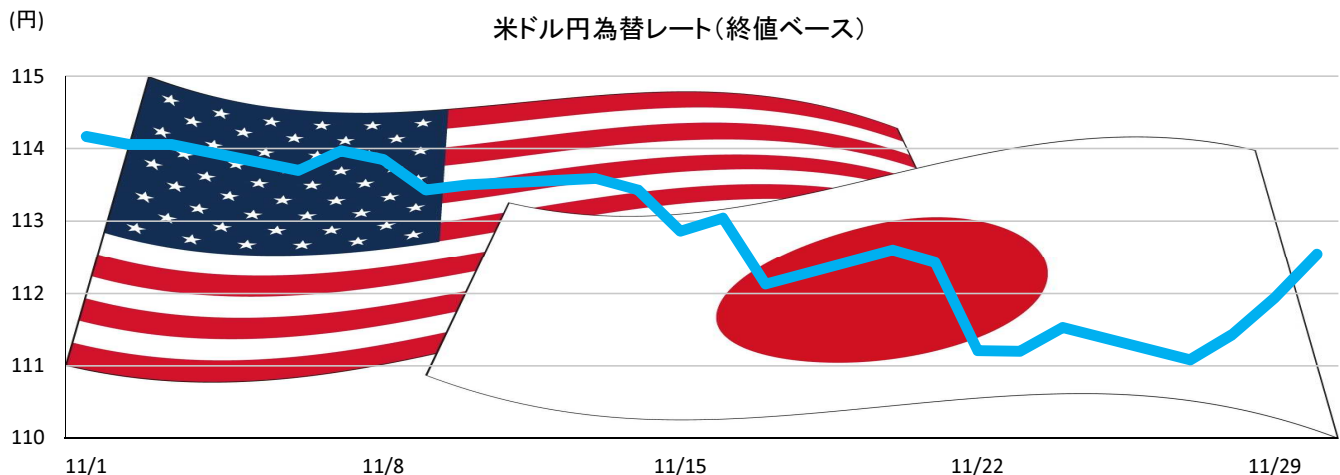


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 11月のドル円相場は、114円半ば～110円後半で推移。月初は米雇用統計の結果やタカ派のパウエル氏が次期FRB議長に内定などドル高の材料もあり、この半年間の高値を更新していった。ただ高値更新が長続きしなかったところに突如パラダイス文書をめぐる疑惑が報じられたこともあり、利食い売りやと相まって徐々にドル安の流れに。さらに再度ロシアゲート問題が報じられたことによる米国政権不安や、トランプ大統領が北朝鮮をテロ支援国家に再指定と発表するなど、ドル売りの流れに拍車をかける展開となった。月末には米国税制改革法案の上院で可決見通しや米GDP改定値が良好だったこともあり、ドル安の流れは一旦歯止めがかかったようだ。



EXTRA VISION

今後の展開: ここ3か月ほどドル高の流れを継続してきたが、この半年間の高値を更新したあたりから流れが変わってきた。潜在的には米利上げ観測があり、ドル買い基調があるものの、今までもリスクとして存在していた、ロシアゲート問題、北朝鮮リスクによって流れを変えられてしまった。さらにイスラエルの都市エルサレムを首都と認める、とトランプ大統領が発表してことで中東リスクが一気に潜在化してきた。エルサレム首都問題は今も安定しない中東情勢にさらなる混乱をもたらす可能性がある。景気や経済動向によるドル高と地政学リスクによるドル安のせめぎ合いは今しばらく続いていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 21 (木)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
12 / 21 (木)	22 : 30	U S	米GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 22 (金)	18 : 30	G B	英GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 23 (土)	0 : 00	U S	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
1 / 5 (金)	19 : 00	E U	消費者物価指数	☆☆☆☆
1 / 5 (金)	22 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 12 (金)	22 : 30	U S	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。